

～～第8483回～～

会津駒ヶ岳・尾瀬

～H30. 7. 21-22～

檜枝岐村は遠い。車中泊翌朝登山は年配者にはキツイので、民宿での素泊りを予約した。島田ばらの丘を20日16:00にマイクロバスで出発する。新東名(藤枝岡部IC)に入り圏央道・東北道(西那須野塩原IC)を出て、R400・121・352を經由し民宿こまどりに23:20到着。希望者のみ宿の天然温泉に入り就寝。翌朝は各自持参の朝食をとり、7:00宿のワゴンにて会津駒ヶ岳滝沢登山口に送ってもらう。林道脇には途中から数十台の車が、登山口駐車場も20台程で満車状態だった。ストレッチ後7:20出発。登山口の木製階段を上るとブナ樹林の急坂になった。快晴の天気恵まれこの時間帯は清々しい空気で、木漏れ日のブナ林は気持ち良く歩ける。約2時間で水場に着く。ベンチの有る広場で休憩ポイントだ。2分程下ると水場が有るが水量が細く、ペットボトルへ入れるのに時間がかかる。人数が多いと此处で待たされるが水の補給は大切だ。水場からは傾斜が少し緩くなり、オオシラビソの樹林帯に変わる。この辺りから木道になり進むとシラビソの間から、会津駒ヶ岳の特徴的な山容が見えてくる。林を抜けると湿原が現れ、遮る物の無い草の緑と青空の開放された大空間に疲れも吹っ飛ばす。木道を少し登ると駒ノ池がある駒ノ小屋に着く。昼食時で多くの方が休憩していた。この時間は気温も上がり小屋の日陰に入るのに苦労する。食後目の前の会津駒ヶ岳に向かう。20分程で山頂(2133)に着く。周囲の木が茂り遠方の山際は雲も出て眺望は良くない。集合写真を撮り中門岳へ希望者8名で向かう。平坦な尾根道で池塘や湿原が続く周囲の展望は良いのだが、木道がだいぶ傷んでおり傾いているので歩きづらい。45分程で中門ノ池端に立つ中門岳(2060)の標識に着く。帰りに池塘越しに燧ヶ岳の双耳峰が姿を見せてくれた。駒ノ小屋を通り登山口に17:20着く。山の花(コバイケイソウ・ハクサンシャクナゲ・フジアザミ・ワタスゲ・チングルマ・イワカガミ・ハクサンコザクラ)連日の暑さでいずれも盛りは過ぎていた。翌日は7:00民宿を出発。御池からシャトルバスに乗り換え、7:50沼山峠に着く。木道を40分程歩くと、広々とした大江湿原に出る。この時期見渡す限りのニッコウキスゲを期待していたのに残念、仕舞い間際の景色は見る事が出来た。尾瀬沼ビジターセンター周辺は賑わっていた。浅湖湿原で昼食を取り沼山峠に向かう。尾瀬沼と湿原の背景に燧ヶ岳の雄大な姿を見て感動する。帰りに檜枝岐村の燧の湯で、アブに歓迎されながら汗を流し帰路に着いた。尾瀬沼の花(ワタスゲ・ニッコウキスゲ・チングルマ・ノアザミ・ジョウシュウオニアザミ・コバイケイソウ・コオニユリ・マルバダケブキ・ミヤマワレモコウ・オゼヌマアザミ・ハクサンコザクラ・シシウド・キンコウカ・オタカラコウ)

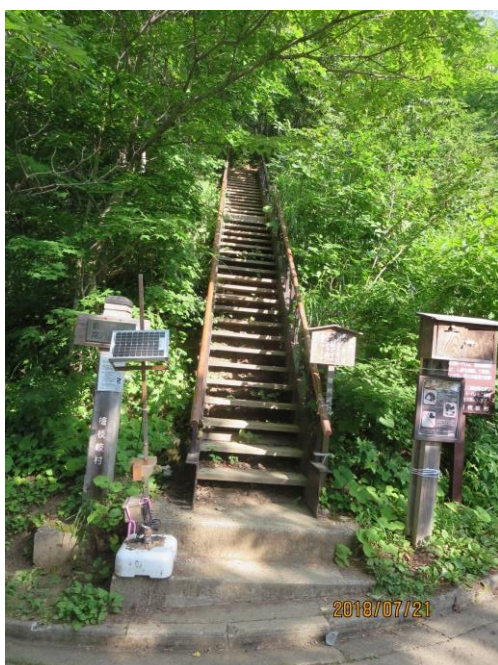
参加者：13名(島田10、磐田2、静岡東1)

天候：快晴

地図：会津駒ヶ岳・檜枝岐・燧ヶ岳

コースタイム：島田 1600＝民宿こまどり(泊) 2320-700＝滝沢登山口 710-20…水場 925-45…駒ノ小屋 1145-1230…山頂 1250-1300…中門岳 1345-55…駒ノ小屋 1440…水場 1545-55…登山口 1720…民宿(泊) 700＝御池 725＝沼山峠 750-800…尾瀬沼ビジターセンター 920-55…浅湖湿原 1025-50…沼山峠 1215-40＝御池 1310＝燧の湯 1320-40＝東北道西那須野塩原 IC1600＝島田 2120

記録：島田支部 T.S



登山道入り口の階段



木道を黙々と歩く



混雑する駒ノ小屋前



会津駒ヶ岳山頂で記念写真



中門岳で記念写真



尾瀬沼大江湿原に入る



湿原の向こうに雄大な燧ヶ岳を望む